

# MOCAL

森松甲冑ミュージアムが先日3月14日(日)放送のBSフジ新番組「MOCAL 名古屋編」にて紹介されました！皆様ご覧いただけましたでしょうか？当館見学は無料となっております、いつでもお気軽にお問い合わせください！



アンタチャブルの柴田英嗣様、松永エリック様  
ご来館いただきありがとうございました！！

## 人の相性と仕事

森 直樹 (代表取締役社長)



不思議なもので、人の相性次第でうまくいくことやうまくいかないことがあります。AさんとBさんの組み合わせでは上手くいかなくても、AさんとCさんでは上手くいくことがあります。とはいえこの3人のうち誰かが問題があるというわけではなく、単に組み合わせが悪かったということがあります。好き嫌いがあるからこそ人としての関わり合いが難しくなりますが、それこそ好きな感情があるからこそ、逆の嫌いの感情もあるわけで、これは人間である以上どうにも難しい事です。チームの中で組み合わせが悪ければ仕事の効率も下がります。仕事の上とはいえ、感情的になることは多々ありますがそれを表に出してもあまり良い事はありません。ただ、相手と考えが合わないとしても、意見として自分の考えを伝えることは必要です。言うべきタイミングやそれを受け止められる相手かどうかということも考慮しなければならないですが、気に入らない、苦手としている相手に対してもお互いに意見を伝え、相互理解に努めることで相手も自分に対する考えが変わってくるのではないのでしょうか。人間関係は鏡の法則、と言いますが相手の自分に対する反応は、自分が相手に取っている行動や態度の裏返しと言います。相手が気に入らない態度を取ってきたら、それは自分が相手をそうさせるような態度を取っているということです。そこで、苦手な相手にもこちらから接し方を変えることで必ず相手にも変化が現れるでしょう。少しでも改善することができれば、余計な気苦労も減り、仕事上の余計なトラブルも減らす事ができます。言うは易しですが、相手のことを理解する気持ちを持つことから全てが始まるということになります。すぐに変えることができるのは相手ではなく、自分自身ですね。

## CHANGE から CHANCE へ

牧野 光昌 (企画営業部)



第29回の森松展のテーマは「CHANGE から CHANCE へ」に決まりました。今年の9月9日から3日間の開催を予定しております。こんな時期なので昨年以上にネット配信を充実し、来場頂いても安全・安心でソーシャルディスタンスな展示会を計画しておりますので、楽しみにして下さい。そんな『元気が出る森松展』が始まったのが1993年です。その頃の社内行事を調べていた際に1995年8月号に私の記事で「CHANGE」というのを発見したので、ついつい読んでしまいました。『サラリーマンと呼ばれる人は、成功につながるチャンスは仕事の中にあると思いがちです。そういう人はたいてい全て条件が揃ったら、チャンス到来と思い、それから何かしようと待っています。しかしいくら待っても条件は絶対に揃わない。だから新たな事を実行する事はない。仕方ないのでいつもと同じ事を一所懸命やる。そのうちに面白く無くなり、それを条件が揃わないせいにする。悪循環にはまり込み、運が悪いせいにする。そしていつもと同じ仕事も手を抜く様になる。そして肩を叩かれる。』、26年前に書いた記事がこのタイミングで降ってきた気がしました。「CHANGE」は待っていてもやってこない。「CHANGE」を起こした時に本当の「CHANCE」が訪れるのです。何か今年の森松展に繋がった気がして、嬉しかった一瞬でした。世界中が大変な時期だからこそ「CHANGE」から「CHANCE」を生み、そして新しい事に「CHALLENGE」していきましょう。

## 大人の溜り場

加藤 雅昭 (企画営業部)



私ももう還暦、しかしバイクやら水泳やら仲間内で楽しんでいる。一昨年位から、岡崎の籠田公園に出店している移動コーヒーショップ HIROKAFE さんに集まるようになってきた。早朝徘徊ツーリング後や昼食後にふらっと行ってみると、誰かがたむろしている。また一人、また一人と集まってきて14時頃がピークタイム。昨年脳梗塞で車いすにお世話になっている友人もほぼ毎日通っているとのこと。公園常連のおば様やおじ様、バイク仲間、水泳仲間、いろいろな方が集まり、いろいろな話をする。私を含め高齢者の集まりです。夏のむちゃ暑い時も、今のような冬でも屋外のベンチが私たちの社交場。コロナ渦ですが、室外で距離を取り？安全対策は問題なし。公園では家族連れや、子供たちが楽しそうに遊んでいる傍らで、ジジババがお茶をしているなんともいいバランスのいい公園です。あの家族連れや、子供たちにはどのように映っているんだろう。秋には岡崎のジャズフェスティバルの時、この公園もイベント会場になり、ジャズを聴きながら珈琲が飲めます。都会？の中のオアシスです。そのなか、脳梗塞をした友人が、来年は初詣に歩いて行くと言い出した。しかし、未だ立つのがやっとの彼、発病から6か月以内に動けないとそこからの好転は難しいはず。そんなことは皆知っているのに、やんやの応援、ああ、何て良い仲間たちだろう。来年1月2日、岡崎城内の龍城神社に初詣に行くことが決定。年明け4日からもうリハビリを再開したとのこと、動かなかった右手もじゃんけんができるほどにもなった。頑張れあっちゃん！こんな仲間と年をとっても、この公園でたむろして、楽しく過ごしていきたいな。まず自分も健康じゃないとね。



## 春と言えば花粉

村橋 敦士 (総務部)



2021年3月の今もなおコロナウイルスは続き、1年前にはまさかここまで猛威を振るうとは思いませんでした。子どもが通う保育園や小学校は少しの咳でも登園・登校を見合わせて頂くようお願いがありました。登園後は定期的に体温が測られ、微熱があれば直ぐに迎えに来る様に連絡が入る等、この1年間は慌ただしく過ぎていきました。しかし、ワクチンの接種が開始され、マスクをせずに気兼ねなく出掛ける事が出来る未来がもう直ぐそこまで来ています。その際には、コツコツ貯めたマイルを活用し、飛行機で北海道か沖縄か何処かに行こうと考えています。コロナ終息に向けて明るい兆しが見えつつありますが、コロナ以上に厄介な問題が毎年春を迎える頃に何の前触れもなく、静かに忍び寄ってきます。そう「花粉」です。一説には日本人の4人に1人が罹っていると言われています。私は大学を卒業した頃から「花粉症」になったと記憶しており、当時は市販薬の投薬容量も本来の半分で済み、症状も軽かったと思います。しかし、徐々に効果も薄れ、2年程前からは耳鼻科で処方箋を頂く様になっています。それ以来、目が痒い時が時々ありますが、症状は概ね抑えられていると感じます。「花粉症」について調べてみるとアレルギー疾患の一種で、遺伝的な要素が大きいそうだが、発症するかは後天的な環境の問題が取り上げられています。例えば、添加物の多いファーストフードやお菓子、油ものや糖分の高い食生活、ストレスや睡眠不足が挙げられます。当てはまる点も多々ありますが、発症してしまった以上、「花粉症」と上手く付き合っていくしかありません。幸い、薬も1日1回1錠の服用で十分に効果があり、この程度で済むのであればと割り切っています。ただ、子供に遺伝しているでしょう。発症しない様に願う事しかできない。ごめんね。

## おうち時間パート2

則武 恵秀 (特販部)



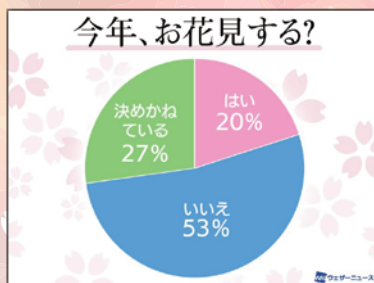
前回も書かせていただきましたが、なかなか外出しづらい世の中になってしまい、できることが限られてきてしまう毎日になりました。前は、餃子づくりを紹介させていただきましたが、今回は煮卵とクレープを紹介させていただきます。まずは煮卵からです。作るきっかけは外食が減り家でラーメンを食べる機会がありますが、何か違うと思い考えた結果、煮卵に至りました。半熟のゆで卵を作り、味付けをしてジップロックで真空にして2日間ほど冷蔵庫に入れて完成です。意外と簡単ですが食べたいときに作って食べることができないので少し面倒かもしれません。ですが自分で作っておいておかしい話ですが、すごくおいしかったです。お店のものと同様に変わりないぐらいでした(笑)。続きましてクレープですが、こちらは単純にテレビで見て美味



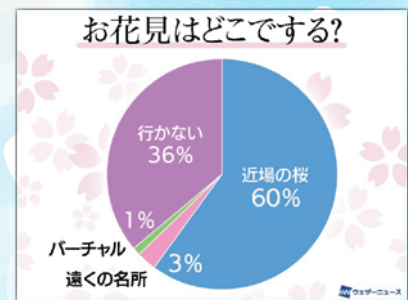
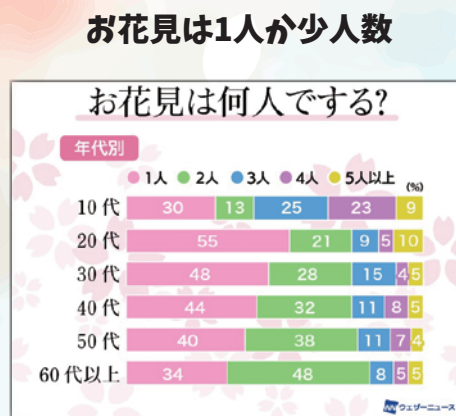
しそうだったからです。生地とカスタードは前日に作り、当日生クリームを準備。なんとなくイメージで作ってみました。こちらも煮卵と同じくとてもおいしかったです。最近ではテレビで見たおいしい食べ物は食べに行こうではなく作ってみようになっていることも実感しています。こんな時代だからこそできることをして今後も楽しんでいきたいと思っています。次回パート3をお楽しみに。

# お花見 シーズン到来

新型コロナの緊急事態宣言の解除と桜の開花時期が重なり、人出の増加による感染拡大が懸念されています。昨年は「花よりコロナ」でお花見どころではなかったですが、今年もしお花見をする場合は、感染対策を行った上で、宴会や食べ歩きなどは控え、立ち見や散策をしながらお花見を楽しみましょう。



今年のお花見は約3割が  
“決めかねている”



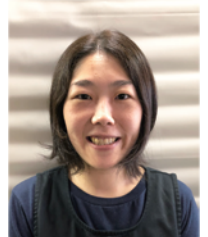
近場の桜でお花見が多数

参考資料：お花見調査「ウェザーニュース」より

## キラメイジャー

下地 千紘（森松産業）

もうすぐ4歳になる息子が、今、戦隊シリーズにハマっています。今放送しているのが、魔進戦隊キラメイジャーというのです。6人の戦士が毎回悪物と戦っていくという話です。戦う敵が毎回変わり、虫歯邪面、ゴルフ邪面と、バラエティーに飛んでおり、母親の私も一緒に見て楽しんでいます。コロナ禍で、家にいる時間が増えている今、テレビを見る時間、おもちゃで遊ぶ時間が増え、夢中になっているものがあることで、とても助かっています。戦士の人形を使い、恐竜のおもちゃ等を敵に見立て、自分でセリフを考えながら遊ぶ姿を見てみると、成長を感じ、とても嬉しい気分になります。子供の成長は、ひとつひとつ親になったことを実感し、



私の頑張ろうという気持ちにも繋がるので、感謝しながら見逃さないようにしたいなと思います。楽しそうに遊んでいる姿を見てみると、新しいおもちゃをどんどん追加していったあげたくなり、キリがないですが、戦隊シリーズは、1年に一回新しい戦士に切り替わるので、親としてはもったいないな—とも思ってしまいます。歌も沢山あり、各キャラクターの曲やダンスを踊る曲など、体を動かして歌う曲もあり、子供と一緒に覚えています。やっといろいろな曲を覚えたところですが、3月には新しい戦隊シリーズが始まります。楽しみ半分、寂しさ半分ですが、子供が戦隊シリーズを楽しんでいる間は一緒に見続けたいと思います。